１．２０２７年度年会について

静岡大学にて開催します２０２７年度年会は以下の通り行われます.

会 場：静岡大学浜松キャンパス
日 時：２０２７年3月２８日（日）より3月３１日（水）まで
（市民講演会は3月２７日（土）です.）
開催情報のページ：https://www.mathsoc.jp/activity/meeting/shizuoka27mar/

一般講演の講演時間は最長１５分とします．これについては,「２．年会および秋季総合分科会における一般講演の講演時間と申し込み件数」をご覧ください.

２０１４年度年会から，アブストラクト PDF のフォントをアウトライン化した結果をオンラインシステム上で確認する手続きを導入しました．また，２０１３年度年会から講演の英文サマリー投稿を正式な講演申し込み手続きに加えましたので，今回の講演申し込みでも同様にお願いいたします.

ａ）講演申し込みについて

この年会で講演することを希望される会員は，オンラインシステムを用いてお申し込みください.（郵送での講演申し込みは２０２５年度年会をもって終了しました.）

なお，２０１５年度年会の講演申し込みから登壇者のみが講演申し込みを行えるようにオンラインシステムを変更しましたのでご注意ください.

特別セッション「無限可積分系」についても，一般講演の募集は分科会と同じように公募形式を取り，特別講演も分科会と同様に行います．講演希望の方は，オンラインシステムの「分科会を選択」欄を「XI　無限可積分系」としてください.

大会運営上の都合から講演時間及び講演件数を制限することもあります.

アブストラクト（予稿）原稿も，下記の注意に従ってオンラインシステムを用いて投稿してください.

オンラインシステム（APP サーバ）の URL: https://app.mathsoc.jp/
オンライン講演申し込みと予稿投稿の締切：**１１月２７日（金）２３時５９分**
（オンラインシステムの受付開始は１１月６日（金）００時００分とします.）
問い合わせフォーム受付期限：**１１月２５日（水）１７時００分**
（事務局への電話での問い合わせは，一切受け付けません．時間に余裕をもって進めてください.）

申し込み件数の制限：１人当たりすべての分科会・特別セッションでの申し込み件数を合わせて６件以内とします．ただし，この件数に共同発表者が申し込む件数は繰り入れません．また，応用数学分科会では，申し込み件数を１人当たり２件以内とします.

アブストラクト原稿：“学会アブストラクトの書式”https://www.mathsoc.jp/meeting/texstyle/abstract_2021.pdf に従って作成してください.（オンラインシステム導入にあたって，２０１１年度版から書式を大幅に改定しましたのでご注意ください.）開催情報のページには“学会アブストラクトの書式”およびアブストラクト作成用 LaTeX クラスファイルのページもリンクしてあります.

一般講演のアブストラクトのページ数は応用数学分科会を除き２ページを上限とします．応用数学分科会は４ページが上限です.

オンラインシステムに入力する講演題目および共同発表者については、アップロード

されるアブストラクトの記述と一致していることを十分にご確認ください.

特別講演および企画特別講演のアブストラクトは講演者（＝登壇者）による単著としますので，ご留意願います.

２０１７年度秋季総合分科会より分科会・特別セッションによっては，アブストラクトを会員限定で事後公開しています．詳細は，「数学通信」第２２巻１号（２０１７年５月号）１０４ページ「日本数学会 年会・総合分科会のアブストラクトの事後公開の実施について」をご参照願います.

２０２７年度年会において，一般講演アブストラクトの事後公開を実施する分科会・特別セッションは以下の通りです.

数学基礎論および歴史分科会　代数学分科会　幾何学分科会
函数論分科会　函数方程式論分科会　函数解析学分科会
応用数学分科会　トポロジー分科会
特別セッション「無限可積分系」

キーワード・分類コード：数学基礎論および歴史，代数学，函数論，実函数論，統計数学，応用数学各分科会への講演申し込みにあたっては，オンラインシステム上でそれぞれ次の分類コードから選択します．この場合，オンラインシステムではキーワード・分類コードの選択がないとエラーとなりますのでご注意ください.

数学基礎論および歴史分科会：１［数学基礎論］，２［歴史］
代数学分科会：１［代数幾何］，２［数論］，３［群論］，４［表現論］，５［環論］，６［可換環論］，７［その他］
函数論分科会：１［１変数函数論］，２［多変数函数論］
実函数論分科会：１［フーリエ解析］，２［関数空間］，３［発展方程式］，４［バナッハ空間の幾何，不動点定理］，５［測度論，積分論］，６［その他］
統計数学分科会：１［確率論，確率過程論］，２［計画数学］，３［確率分布，標本分布，乱数］，４［実験計画法］，５［多変量解析］，６［時系列解析］，７［ノンパラメトリック解析］，８［漸近理論］，９［応用統計］，１０［推測理論］（３－７に含まれないもの），１１［その他］
応用数学分科会：１［解析系応用数学］，２［離散系応用数学］，３［その他］

上の分類コードは，講演申し込み数の動向などに応じて改訂を検討することになっていますので，ご意見を連絡責任評議員までお寄せください.

講演題目中の数式：すでに「数学通信」第１４巻４号（２０１０年２月号）掲載の会報１３６「８．年会および秋季総合分科会の一般講演のタイトルについて」でお願いしましたが，講演題目に用いる数式は最小限に留めるようお願いします.

ｂ）学会講演申込書・学会プログラムの名誉教授の扱いについて

２００８年３月２８日の理事会にて「学会講演申込書には名誉教授であることをご明記いただき，学会プログラムでは名誉教授を表すマークを付けて所属欄に記載する」と決定しました．名誉教授の先生方はお忘れないようにお願いします．オンライン申し込みでは例えば「＊大名誉教授」とご入力ください.

ｃ）講演申し込みデータとフォント・アウトライン化したアブストラクト PDF の確認について

前回までの大会と同様に，確認のために講演者名と所属，講演題目などの講演申し込みデータをウェブ上で公開します．また，アブストラクト PDF のフォントをアウトライン化した結果に文字化けがないか確認していただきます．

１２月２２日（火）に年会開催情報のページにおいて講演申し込みデータを公開する予定です．また，それと同時に講演申し込みとアブストラクト投稿を行ったページにおいてフォント・アウトライン化後の PDF を確認できるように設定します．講演申し込みを行った会員は，オンラインシステムの講演申し込みのページにログインしてご確認ください．

講演申し込みデータおよびアブストラクト PDF を確認した結果，問題が見つかった場合は，**１２月２５日（金）までに**

https://www.mathsoc.jp/activity/meeting/shizuoka27mar/program/inquiry.html

の問い合わせフォームよりご連絡ください．

講演申し込みデータの軽微な字句修正につきましてはお受けできませんので予めご承知ください．また，いかなる理由があっても，フォント・アウトライン化のプロセスで生じた問題以外では，アブストラクト PDF の差し替えは固くお断りします．

アブストラクト PDF の確認については，開催情報のページからリンクしてあります「フォント・アウトライン化したアブストラクト PDF の確認について」

https://www.mathsoc.jp/activity/meeting/shizuoka27mar/talklist/outline.html

をご覧ください．また１２月２２日（火）に講演情報の公開とアブストラクト PDF の確認についてアナウンスしますので，そこに記載されています注意をお読みください．

ｄ）会合（委員会開催の部屋）の申し込みについて

各分科会または各種委員会等で，会合のために部屋を必要とされる場合は，オンラインシステムで申請をお願いいたします．（１）会合（委員会）の名称，（２）責任者の氏名・連絡先（電子メールアドレスまたは電話番号），（３）使用の日時・人数，（４）プログラムへの掲載希望を，オンラインシステム上の様式に従って入力してください．

分科会の会場を使っての会合に関しても，分科会のプログラムや全体の「委員会等日程」への掲載の必要がある場合は，必ずこのシステムを通して登録をお願いします．

期限後の申し込みについては，部屋の確保が不可能となる場合もあります．

また，**授賞式，総合講演の時間帯に会合を設定することは原則お断りします．**やむを得ない事情によりそうせざるを得ない場合は，あらかじめ学会担当理事と開催校の実行委員会にメールを送り，承諾を得てから申し込んでください．

オンラインシステム上での会合申し込み：https://app.mathsoc.jp/kaigi/

申し込み期間：**１１月６日（金）００：００から１１月２７日（金）２３：５９まで**

ｅ）無限可積分系

特別セッション「無限可積分系」ついては，日本数学会理事会の責任において開催しますが，今回の実務的な責任者は津田照久会員（青山学院大学）です．

ｆ）企画特別講演について

企画特別講演は，大学院生などの若手会員にとって，年会・総合分科会への参加をより意義のあるものにすることを目的としています．講演者は，分科会評議員および「無限可積分系」セッション責任者からの推薦をもとに，理事会が決定いたします．

講演は，会期中の第１日，第３日，第４日の３日間の１３：００～１４：００に並行して

複数の講演を開催します．この時間は一般講演・特別講演等の通常プログラムは設けません．

ｇ）書籍等展示の申し込みについて

賛助会員で書籍等の展示を希望される場合は，申し込み書２枚（日本数学会理事長宛，大会委員長宛）を申し込み締切**１１月２７日（金）厳守**で下記（展示とりまとめ当番社）へお送りください．（締切後の追加申し込みはご容赦ください．）

送り先：〒112-0012 文京区大塚１－５－１８ 大伴ビル 9Ｆ－Ｂ
（株）友隣社
電話：03-5981-9351　FAX：03-5981-9352

ｈ）電子メールアドレス

大会の準備のためにいくつかの電子メールアドレスを用います．以下のリストのアドレスに@mathsoc.jp を付け加えてください．

大会に関する全般的な照会	shizuoka27mar
入会希望者の仮 ID の申し込み，Activation Key の照会	member

講演題目の確認，会議室関係などに関しては，こちらの問い合わせフォームからお願いします．
https://www.mathsoc.jp/activity/meeting/shizuoka27mar/program/inquiry.html